

第65回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第65回「あいおの会」

令和元年7月7日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第65回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様9名とご家族様、言語聴覚士と様々な人が集まり賑やかな雰囲気です。

今回は、写真を見て完成する料理を当てるゲームと、3つのヒントからお題を当てるゲームの2つを行いました。どちらのゲームでもグループ内で活発に意見交換が行われ、お題当てを全員で楽しむことが出来ました。七夕の日の開催であり、最後は七夕の歌を全員で歌い、少年時代に思いを馳せました。

* 次回は **9月29日(日) 午前10時**の開催を予定しています。

国際医療福祉大学熱海病院で行います。会場は地下1階の会議室となります。



暑い夏の日が続きます。皆さまお元気にお過ごしください。